

学びの時間

ツキイチ



かけそばネット

Vol.1



参加費
無料

あんどろクリニック 安藤院長に聞く

認知症について学ぼう その1

「うちの母、歩き方がおかしいのよね・・・
すり足で歩くし、体が左右に揺れてるし」



「たまに会話も変なのよね・・・」

「母が何を考えているか
分からない時もあるし・・・」

参考図書：認知症世界の歩き方



医師の目線で
認知症の方の物の見え方や感覚
をお伝えします。

楽しみながら一緒に学びましょう！

14:00～15:00

ヨシツヤ可児店1階

無印良品 店舗内

ミーティングルーム Room1

主な対象者：親や身近な方が認知症の
可能性がある方(定員10名)
※申込多数の場合は抽選

2024年

5/21



お申込み



申込はQRコードから
電話もOK 😊

<https://logoform.jp/f/rmj40>

申込締切: 5/14(火)

お申込みは
コチラ



主催

可児市・御嵩町
在宅医療・介護連携推進プロジェクトチーム

「かけ」つきます 「そば」にいます

かけそばネット



問合せ先

可児市 高齢福祉課 地域包括ケア推進係
電話：0574-62-1111

Email koreifukusi@city.kani.lg.jp



「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。



かけそばネットとは??

医療と介護の連携が進むとどうなるの?

患者・利用者の日々の状況が医療職(医師、看護師など)と介護職(ケアマネジャー、ヘルパーなど)で共有されるので、どの専門職に相談しても医療と介護を含めた話ができます。状況に変化があった時は、迅速に医療職・介護職の双方に状況が伝わり、適切な医療・介護サービスを受けることにつながるから、在宅で最期まで暮らし続けることが可能になります。

例えば

医師とケアマネジャーに相談したところ...

医師
運動は少し控えましょう。

ケアマネジャー
もっと運動できるようにしましょう。

どうしたらよいのかと迷うことも...

連携ができてると...

ケアマネジャー この人に運動をさせたいのですが。

医師 この人は〇〇ですので激しい運動は控えたほうがよいです。

ケアマネジャー では軽めの運動をするように伝えます。

医療と介護の
まとまった指導が伝わる。



【広報かに 令和元年7月号】

連携を目指して活動している

在宅医療・介護連携推進プロジェクトチーム

かけそばネット



「いつでも「かけ」つきます「そば」にいます」を合言葉に、地域の皆さんに寄り添う専門職が集まるかけそばネット。平成29年8月に可児市と御嵩町の合同で始まりました。

さまざまな専門職が集まって事例検討や研修を行っています。在宅医療や介護について知識を深めるだけでなく、医療(医師、歯科医師、薬剤師、看護師など)と介護(ケアマネジャー、ヘルパー、地域包括支援センターなど)の専門職が顔の見える関係づくりをしています。

かけそばネットのロゴマーク「人」という漢字を使い、皆が顔を合わせて円を書くことで、ケアシステム全体の和(輪)をイメージしています。

こんな活動をしています



住民向け講演会

専門職が、入院から在宅生活への医療介護の連携を紹介



専門職の研修会

人生の最終段階における医療・ケアのあり方について勉強



あんどらクリニック
院長 安藤 文夫さん

専門職のみなさんへ かけそばネットに参加しませんか!

これからの在宅医療・介護には我々専門職が連携してそれぞれのケースに対応していくことが大切になってきます。

医療、介護の現場で活躍する専門職のみなさん、患者さんや利用者さんの望む生活を、私たちと一緒に実現しませんか?毎月第2水曜日の夜に活動しています。みなさまのご参加、お待ちしております。(次回は7/10(水)に医療・介護ワンコイン交流会を開催します)

問合せ かけそばネット事務局(高齢福祉課 地域包括ケア推進係内)

在宅医療・介護の連携に意欲的に取り組む有志の「在宅医療・介護連携推進プロジェクトチーム」を募集し、平成29年8月にプロジェクトチームを立ち上げ、毎月定例的に会議を進めています。

現在は『様々な職種の方に「在宅医療介護連携」についての周知を図り、顔の見える関係ができることで、住民の在宅医療介護が円滑に進み、住み慣れた地域で安心した生活ができるようになる。』を目標に「多職種間の交流会」、「相互理解目的の研修会」等に取り組んでいます。

